

【担当教員名】 塩見義彦	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

国的な都市化現象等地域社会の変貌は著しく、そこに暮らす子ども達の生活ストレスを背景とした様々な問題行動が浮き彫りになっている。児童、子育て環境、社会のありよう全体を視野に入れ、そこで生み出される子ども自身の問題と多様な家族形態の中で抱える家庭問題の本質を考えてみたい。その上で、現行の児童福祉諸制度、児童福祉の理念、さらには政策・制度の現状と問題点について少子高齢化が一段と進む中、子どものすこやかな成長を支える児童福祉、児童家庭福祉はいかにあるべきかを考える。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

- I 児童福祉の歴史と基礎概念について学習する。
- II 現代社会と児童福祉について学ぶ。
- III 子供を健やかに生み育てる環境について考える。
- IV 児童福祉の法と児童福祉施策、実施体制について学ぶ。
- V 児童福祉にかかわる専門機関、専門職種について学習する。

回数	授業計画又は学習の主題(変更の可能性あり)		SBO
			番号 学習方法・学習課題又は備考
1	児童福祉施設等 I	各種児童福祉施設について学ぶ	講義中心
2	児童福祉施設等 II	同上	
3	要保護児童施策の動向	要保護児童施策をめぐる新たな動きについて学ぶ	
4	障害児の福祉	障害児の現状と障害児福祉施策の課題について学ぶ	
5	母子家庭等の福祉	母子・父子家庭の現状と福祉施策について学ぶ	
6	母子保健	母子保健法の概要と福祉施策の課題と動向について理解する	
7	児童の健全育成	健全育成の意味と健全育成施策の課題について理解を深める	
8	保育	保育にかける児童の福祉施策について学ぶ	
9	児童福祉専門職	児童福祉実施機関・福祉施設の専門職について学ぶ	
10	関連分野の専門職	民間や行政機関の専門職について学ぶ	
11	民間サービス	民間サービスや地域住民・ボランティア活動について学ぶ	
12	ネットワーク	援助における連携とネットワークについて学ぶ	
13	ニーズの把握	ニーズの把握とその対応について学ぶ	
14	相談援助活動	相談援助活動の展開と具体的留意点について学ぶ	
15	施設における援助活動	児童福祉施設におけるケアの特質と機能等について学ぶ	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	「児童福祉論」	「新版・社会福祉学習双書」編集委員会	全社協	2006・2000(税別)
参考書	「児童福祉論」	福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	2005・2500(税別)
その他の資料	必要の都度指示、配布する			

【評価方法】 レポート、試験、出席状況、授業態度等総合的に評価する	【履修上の留意点】
--------------------------------------	-----------